



2019年3月期 決算説明会資料



2019年5月15日
リンテック株式会社

2019年3月期 連結業績の概要①

	18/3月期 累計	19/3月期 累計	増減 (増減率)
--	--------------	--------------	-------------

(単位:百万円)

売上高	249,030	250,942	1,912 (0.8%)
-----	---------	---------	-----------------

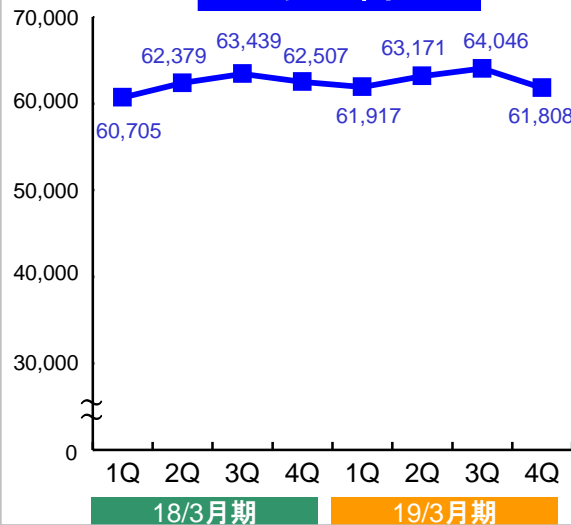
営業利益	20,095	17,977	▲2,118 (▲10.5%)
------	--------	--------	--------------------

経常利益	18,389	17,993	▲396 (▲2.2%)
------	--------	--------	-----------------

親会社 株主に 帰属する 当期 純利益	11,257	12,937	1,680 (14.9%)
---------------------------------	--------	--------	------------------

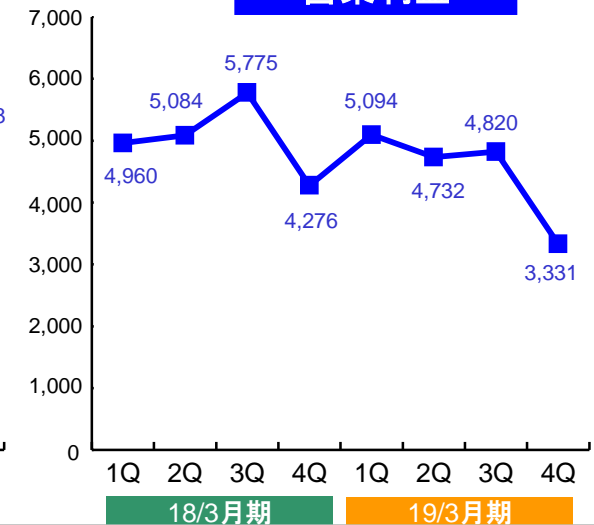
(単位:百万円)

売上高



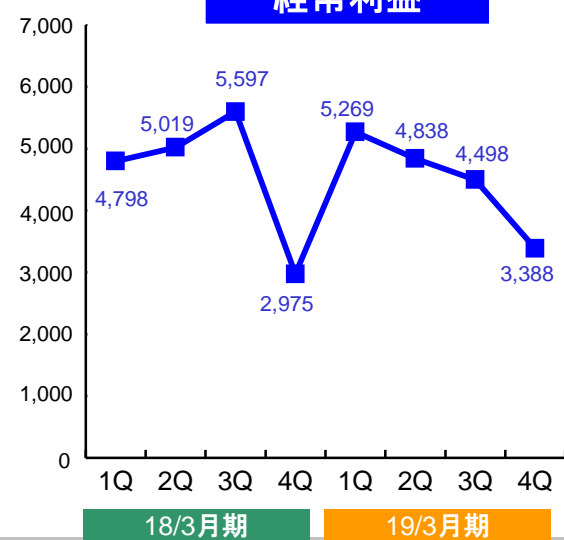
(単位:百万円)

営業利益



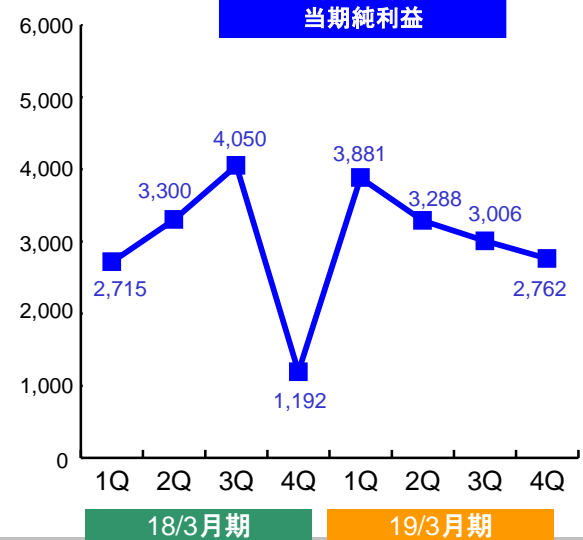
(単位:百万円)

経常利益



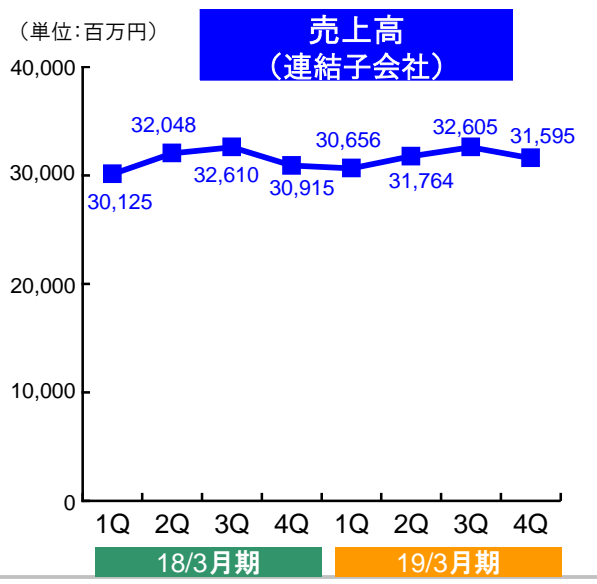
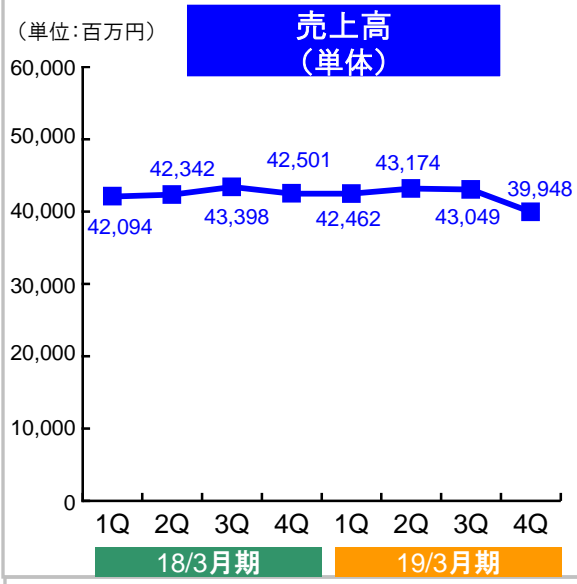
(単位:百万円)

親会社株主に帰属する 当期純利益

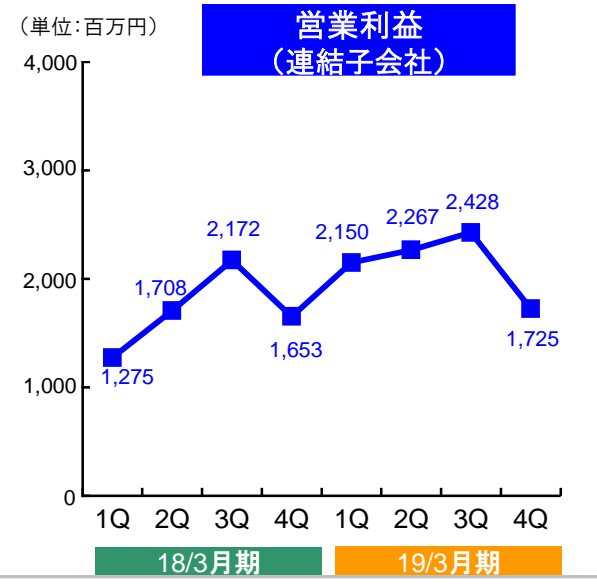
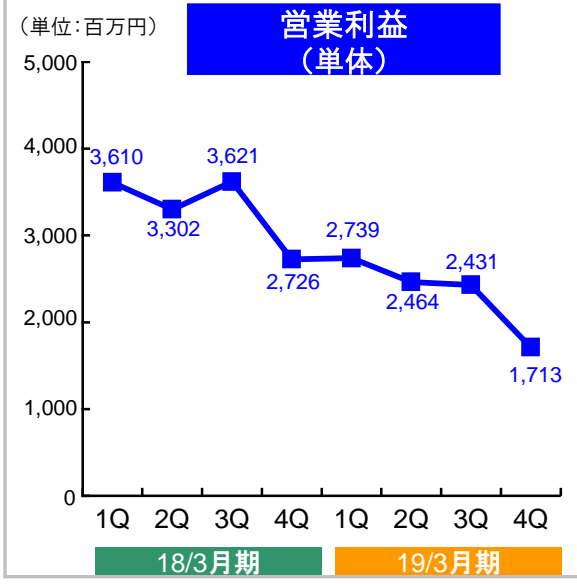


2019年3月期 連結業績の概要②

	18/3月期 累計	19/3月期 累計	増減 (増減率)
売上高			(単位:百万円)
単体	170,335	168,633	▲1,702 (▲1.0%)
連結子会社	125,698	126,620	922 (0.7%)
消去	▲47,003	▲44,311	2,692
計	249,030	250,942	1,912 (0.8%)



	18/3月期 累計	19/3月期 累計	増減 (増減率)
営業利益			(単位:百万円)
単体	13,259	9,347	▲3,912 (▲29.5%)
連結子会社	6,808	8,570	1,762 (25.9%)
消去	28	60	32
計	20,095	17,977	▲2,118 (▲10.5%)



➤ 売上高

● リンテック単体

洋紙事業部門、産業工材事業部門は堅調

アドバンストマテリアルズ事業部門は、期後半に半導体市場の低迷の影響を受け減少

印刷・情報材事業部門、加工材事業部門も低調

● 連結子会社

アドバンストマテリアルズ事業部門の台湾販売子会社が減少

米国子会社が円高の影響を受け、円貨換算額が目減り

その他の連結子会社は総じて堅調

➤ 営業利益

● リンテック単体

販売数量の減少および売上構成の悪化 約12億円

原燃料価格の上昇 約22億円

● 連結子会社

増収効果に加え、マディコにおいて業績が大幅に改善

【期中平均為替レート(実績)】

	(2018/3)		(2019/3)
円/US\$	112.04	→	110.36
円/1-円	127.22	→	130.01
円/WON	0.1000	→	0.1004
円/中国元	16.63	→	16.64
円/台湾\$	3.70	→	3.66

2019年3月期 印刷材・産業工材関連の概要①

18/3月期 累計	19/3月期 累計	増減 (増減率)
--------------	--------------	-------------

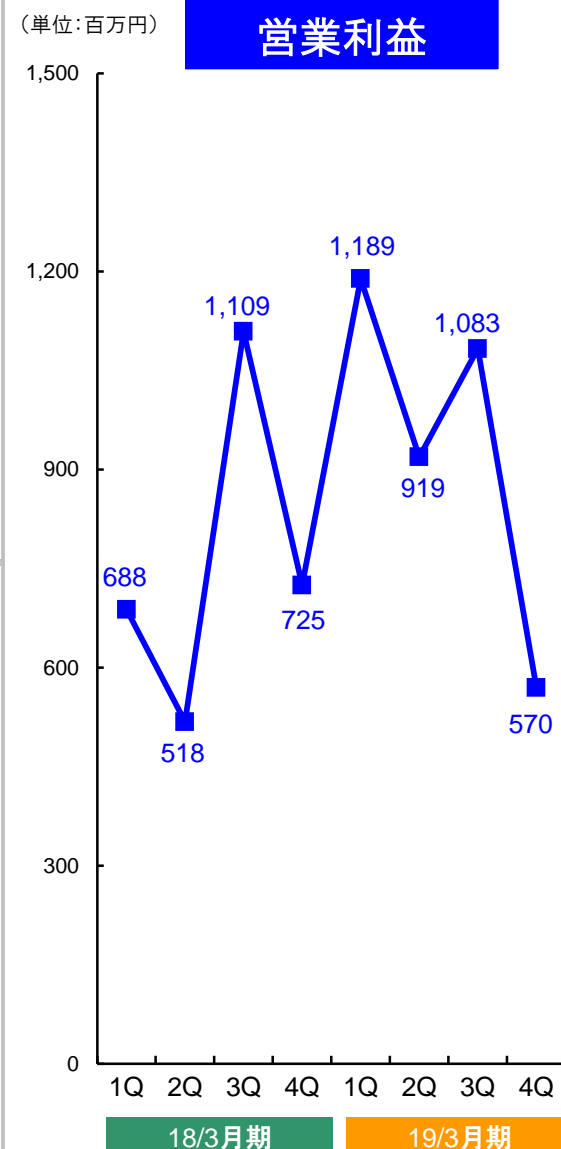
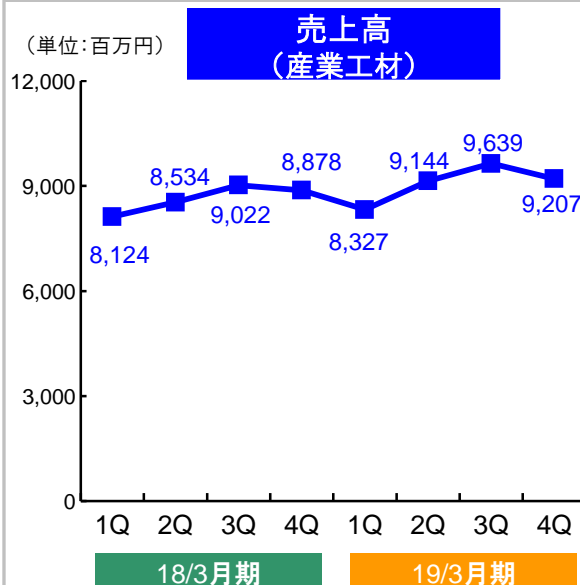
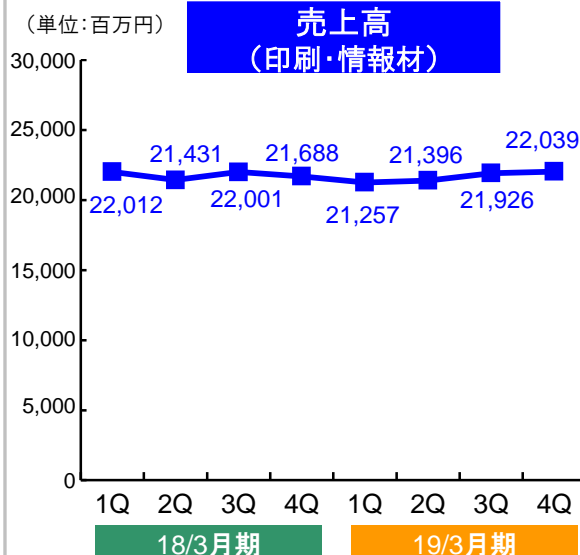
(単位:百万円)

印刷・情報材 事業部門	87,132	86,618	▲514 (▲0.6%)
----------------	--------	--------	-----------------

産業工材 事業部門	34,558	36,317	1,759 (5.1%)
--------------	--------	--------	-----------------

売上高 合計	121,691	122,935	1,244 (1.0%)
-----------	---------	---------	-----------------

営業利益	3,040	3,761	720 (23.7%)
------	-------	-------	----------------



➤ 印刷・情報材事業部門

国内：宅配・通販関連、化粧品などのアイキャッチラベル需要が堅調
期前半の自然災害や酷暑などの影響を受け食品・飲料関連が低調
海外：アセアン地域において堅調
中国国内で需要が低迷
米国子会社において円高による目減り影響を受ける

➤ 産業工材事業部門

国内：通販向け装置が堅調
海外：二輪を含む自動車用粘着製品がインドやアセアン地域において順調
ウインドーフィルムが好調

2019年3月期 電子・光学関連の概要①

18/3月期 累計	19/3月期 累計	増減 (増減率)
--------------	--------------	-------------

(単位:百万円)

アドバンス マテリアルズ 事業部門	51,633	53,044	1,411 (2.7%)
-------------------------	--------	--------	-----------------

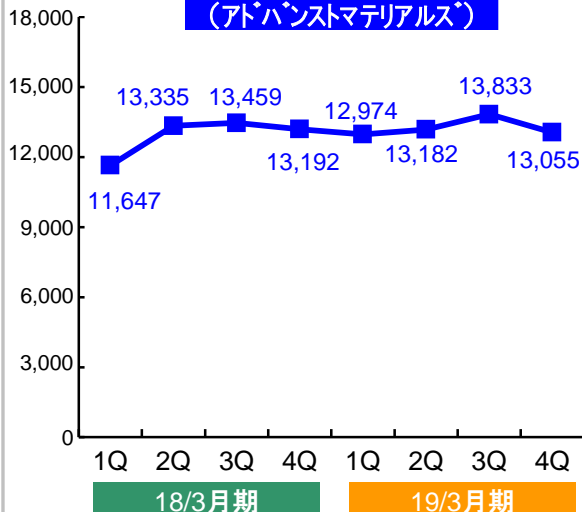
オプティカル材 事業部門	37,249	37,271	22 (0.1%)
-----------------	--------	--------	--------------

売上高 合計	88,882	90,316	1,433 (1.6%)
-----------	--------	--------	-----------------

営業利益	11,972	11,150	▲821 (▲6.9%)
------	--------	--------	-----------------

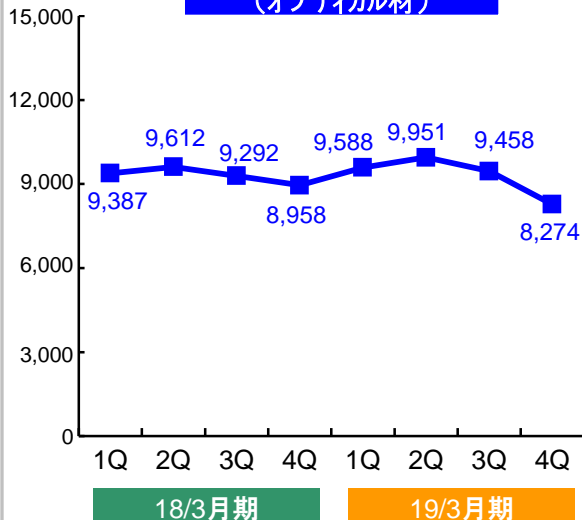
(単位:百万円)

売上高 (アドバンスマテリアルズ)



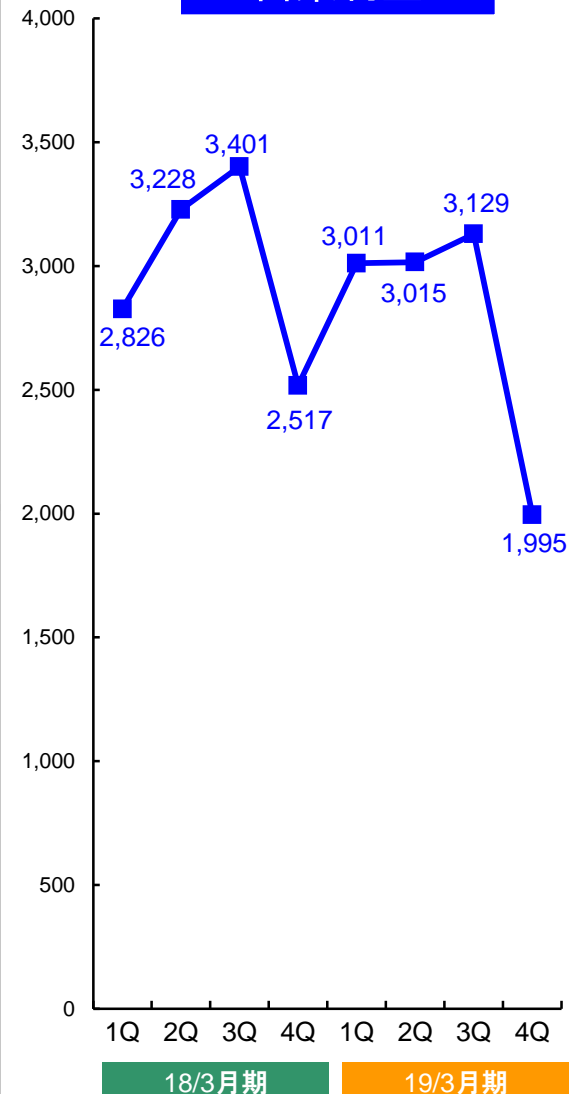
(単位:百万円)

売上高 (オプティカル材)



(単位:百万円)

営業利益



➤ アドバンストマテリアルズ事業部門

半導体関連粘着テープ：市場の生産調整の影響を受け減少

半導体関連装置：設備投資抑制の影響を受けたものの前年同期並み

積層セラミックコンデンサ関連テープ：スマートフォン、車載、サーバー用などの需要が好調

➤ オプティカル材事業部門

光学ディスプレイ関連粘着製品：スマートフォン用などが期後半に需要低迷の影響を受けるも
大型テレビ用は年間を通じて順調

2019年3月期 洋紙・加工材関連の概要①

	18/3月期 累計	19/3月期 累計	増減 (増減率)
--	--------------	--------------	-------------

(単位:百万円)

洋紙 事業部門	16,441	16,672	231 (1.4%)
------------	--------	--------	---------------

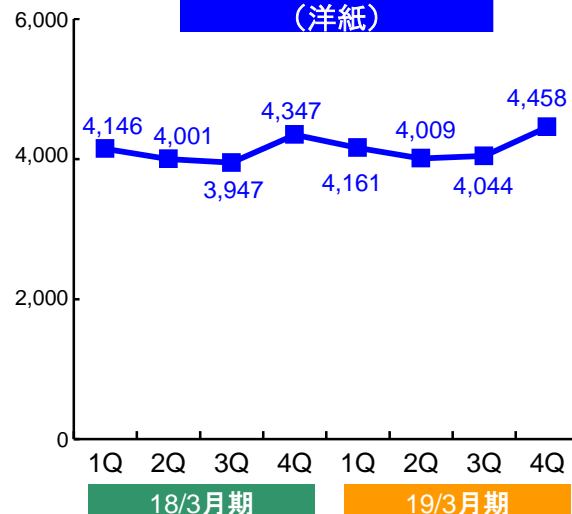
加工材 事業部門	22,015	21,017	▲998 (▲4.5%)
-------------	--------	--------	-----------------

売上高 合計	38,456	37,689	▲766 (▲2.0%)
-----------	--------	--------	-----------------

営業利益	4,996	2,970	▲2,025 (▲40.5%)
------	-------	-------	--------------------

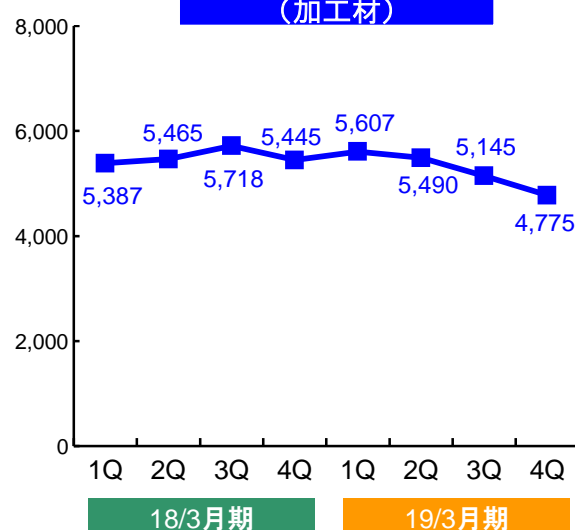
(単位:百万円)

売上高 (洋紙)



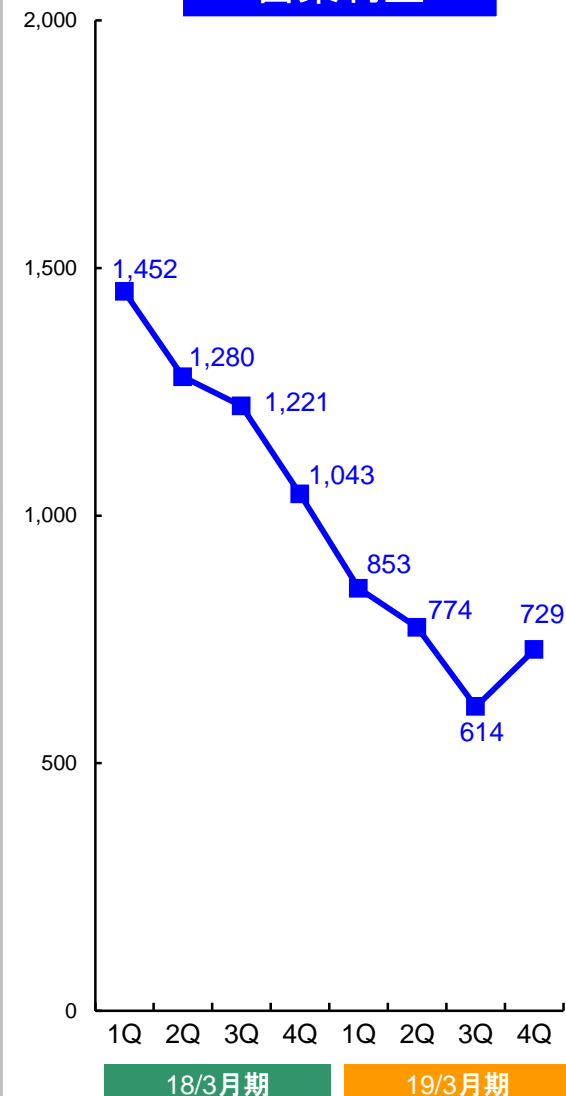
(単位:百万円)

売上高 (加工材)



(単位:百万円)

営業利益



➤ 洋紙事業部門

隠ぺい性を付与した封筒用紙やファストフード向けの耐油耐水紙などが順調

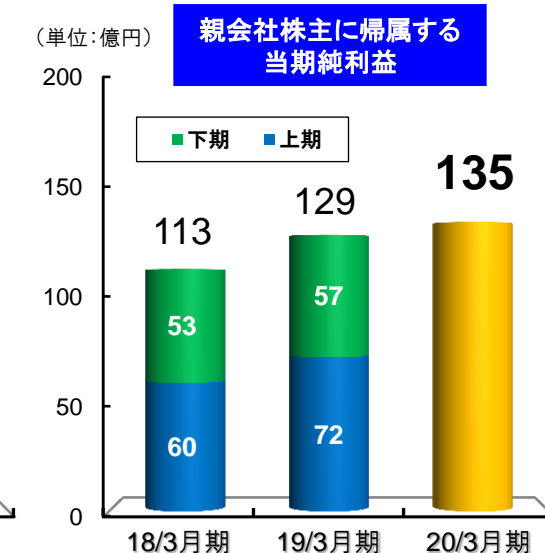
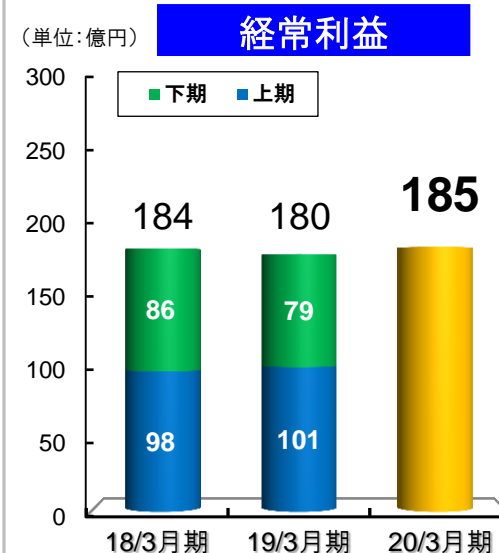
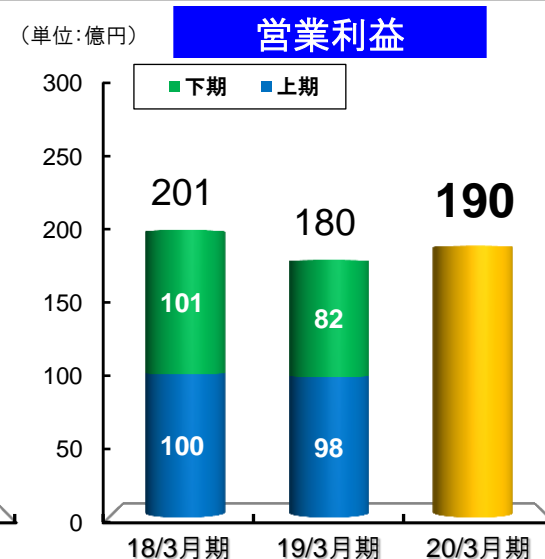
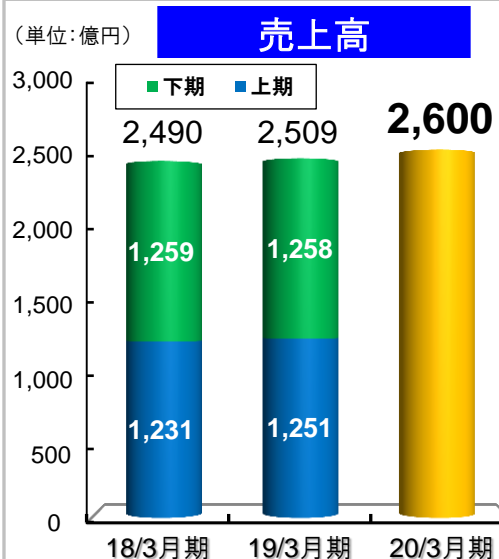
➤ 加工材事業部門

炭素繊維複合材料用工程紙は順調
一般粘着製品用、電子材料用剥離紙が低調

2020年3月期 連結業績の見通し

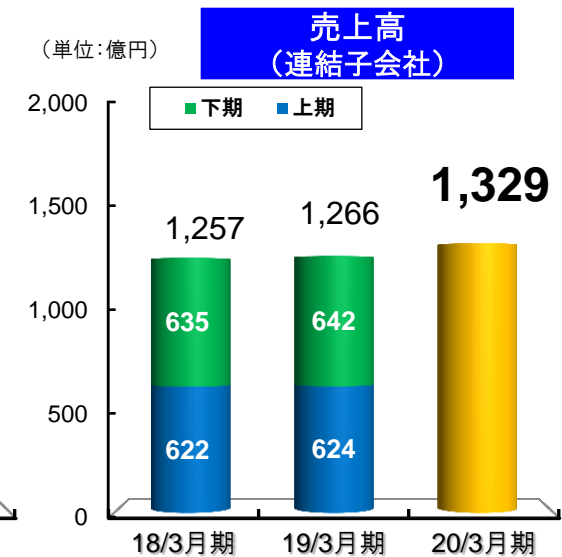
2020年3月期 連結業績の見通し①

	19/3月期 実績	20/3月期 見通し	増減	増減率
(単位: 億円)				
売上高	2,509	2,600	91	3.6%
営業利益	180	190	10	5.7%
経常利益	180	185	5	2.8%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	129	135	6	4.3%

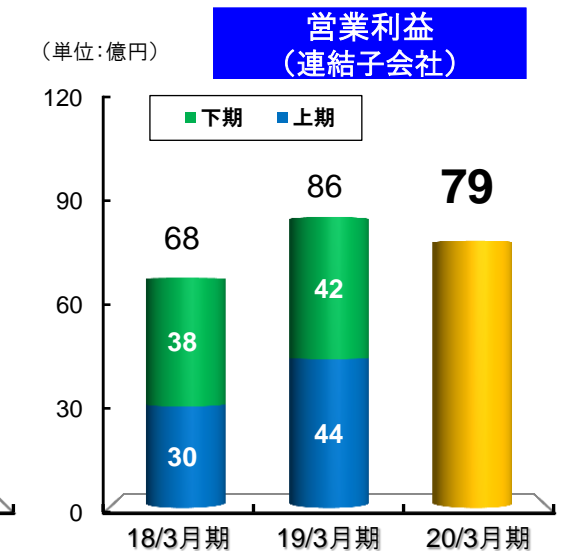
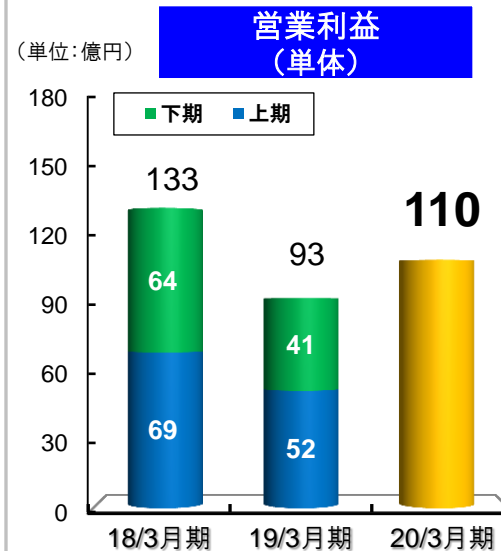


2020年3月期 連結業績の見通し②

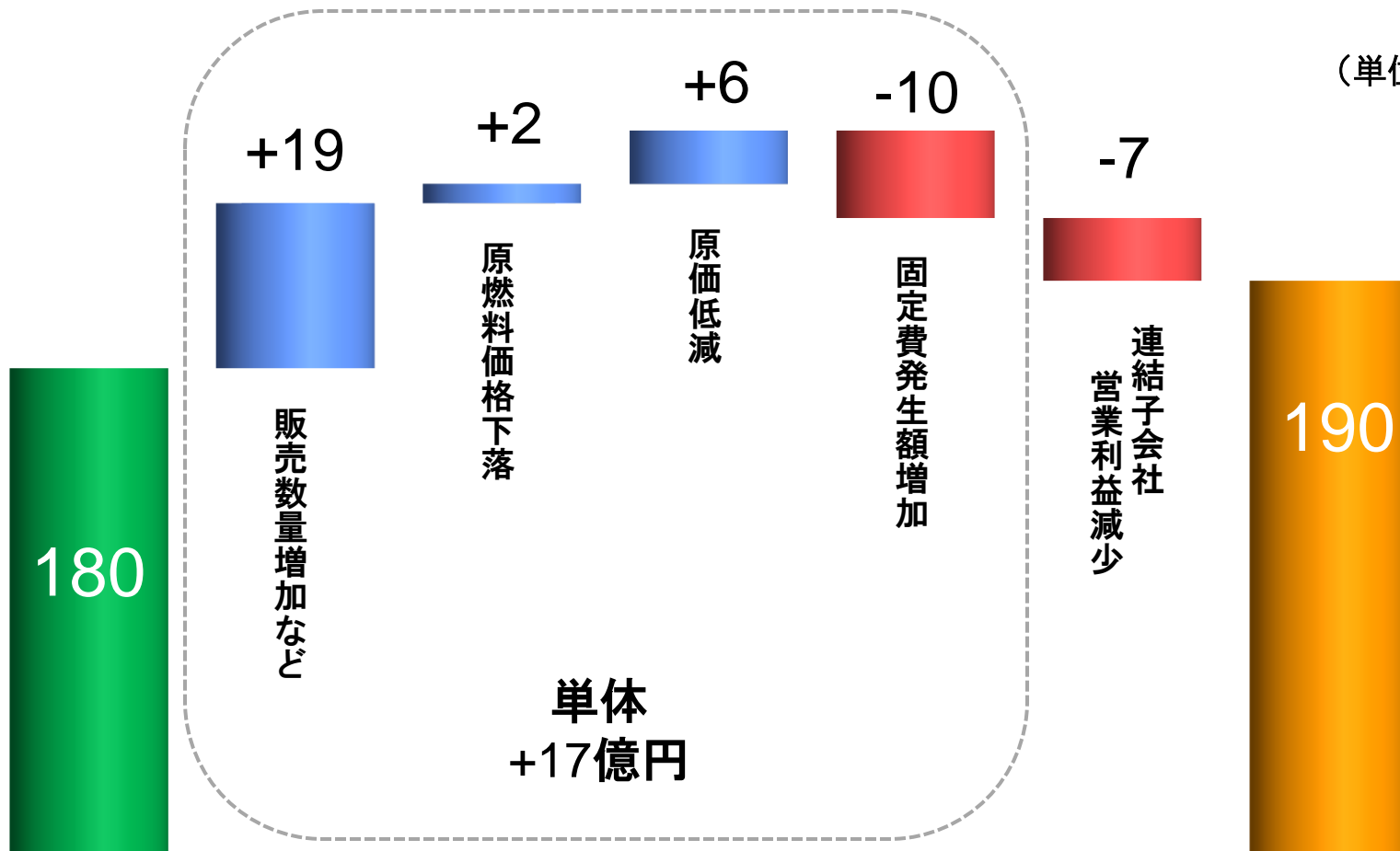
	19/3月期 実績	20/3月期 見通し	増減	増減率
売上高				
	(単位: 億円)			
単体	1,686	1,727	41	2.4%
連結子会社	1,266	1,329	63	5.0%
消去	▲443	▲456	▲13	—
計	2,509	2,600	91	3.6%



	19/3月期 実績	20/3月期 見通し	増減	増減率
営業利益				
	(単位: 億円)			
単体	93	110	17	18.3%
連結子会社	86	79	▲7	▲8.1%
消去	1	1	—	—
計	180	190	10	5.7%



(単位: 億円)



2019/3月期
実績

【為替レート】

	(2019/3 実績)		(2020/3 想定)
円/US\$	110.36	→	110.00
円/ユーロ	130.01	→	125.00
円/WON	0.1004	→	0.1000
円/中国元	16.64	→	16.50
円/台湾\$	3.66	→	3.60

2020/3月期
見通し

2020年3月期 印刷材・産業工材関連の見通し①

	19/3月期 実績	20/3月期 見通し	増減	増減率
--	--------------	---------------	----	-----

(単位:億円)

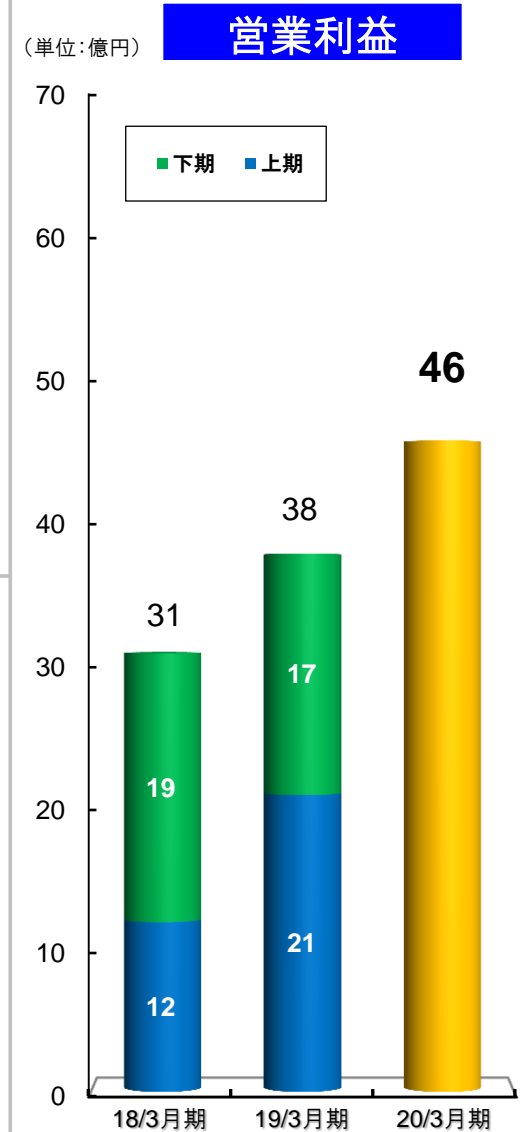
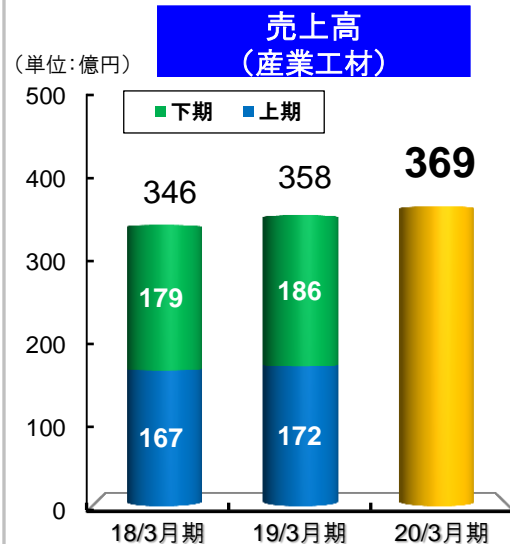
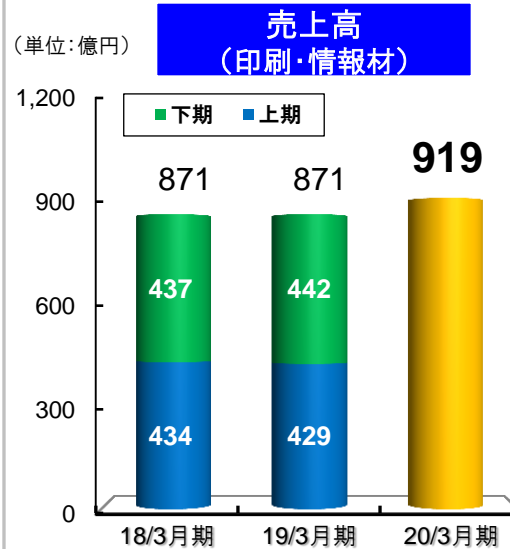
印刷・情報材 事業部門	871	919	48	5.4%
----------------	-----	-----	----	------

産業工材 事業部門	358	369	11	3.2%
--------------	-----	-----	----	------

売上高 合計	1,229	1,288	59	4.8%
-----------	-------	-------	----	------

※2019年4月よりラベリングマシンの一部を産業工材事業部門から印刷・情報材事業部門へ移管しました。
2019年3月期の実績は組み替えて記載しております。

営業利益	38	46	8	22.3%
------	----	----	---	-------



➤ 印刷・情報材事業部門

国内：飲料用キャンペーンラベルや化粧品などのアイキャッチラベルの販売数量が増加

海外：リンテック インドネシアでの粘着紙の増産

冷凍食品の包装や物流用途に最適なマックタックのホットメルト製品の拡販

➤ 産業工材事業部門

二輪を含む自動車用粘着製品がインドやアセアン地域において堅調

自動車用ウインドーフィルムがインドネシアで新規採用

2020年3月期 電子・光学関連の見通し①

	19/3月期 実績	20/3月期 見通し	増減	増減率
--	--------------	---------------	----	-----

(単位:億円)

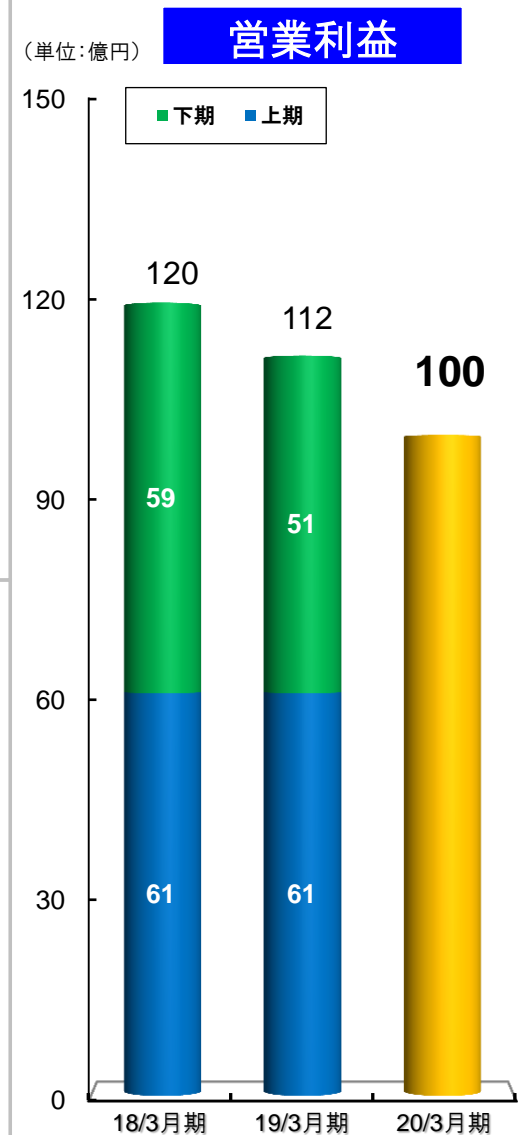
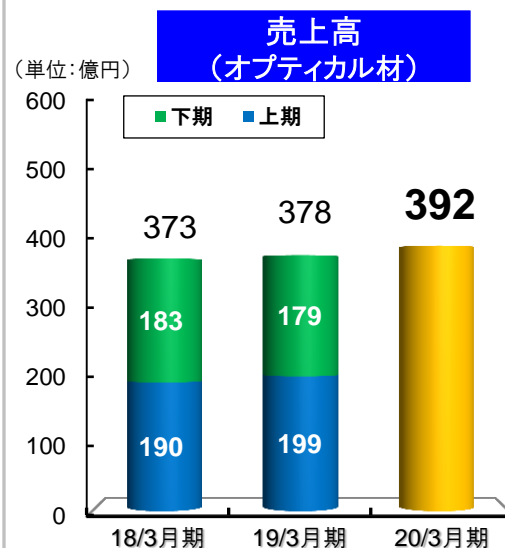
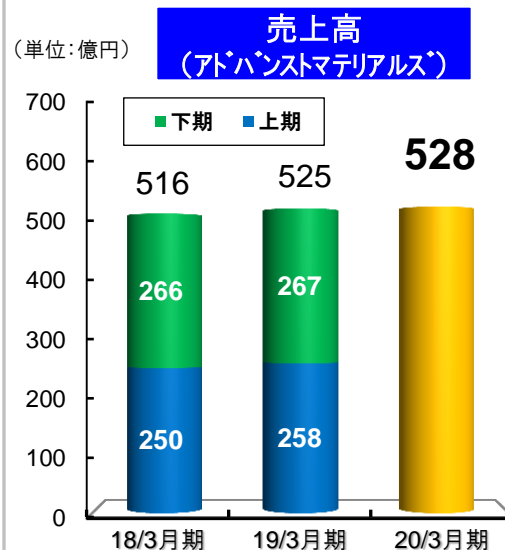
アドバンス マテリアルス 事業部門	525	528	3	0.5%
-------------------------	-----	-----	---	------

オプティカル材 事業部門	378	392	14	3.7%
-----------------	-----	-----	----	------

売上高 合計	903	920	17	1.9%
-----------	-----	-----	----	------

※2019年4月より光デバイス関連製品をアドバンスマテリアルス事業部門からオプティカル材事業部門へ移管しました。
2019年3月期の実績は組み替えて記載しております。

営業利益	112	100	▲12	▲10.3%
------	-----	-----	-----	--------



➤ アドバンストマテリアルズ事業部門

半導体関連粘着テープ：年後半には需要が回復するとみており、前年同期並み

半導体関連装置：設備投資抑制の影響を受け減少

積層セラミックコンデンサ関連テープ：車載、産業用などの需要が堅調

➤ オプティカル材事業部門

大型テレビの需要が堅調

2020年3月期 洋紙・加工材関連の見通し①

	19/3月期 実績	20/3月期 見通し	増減	増減率
--	--------------	---------------	----	-----

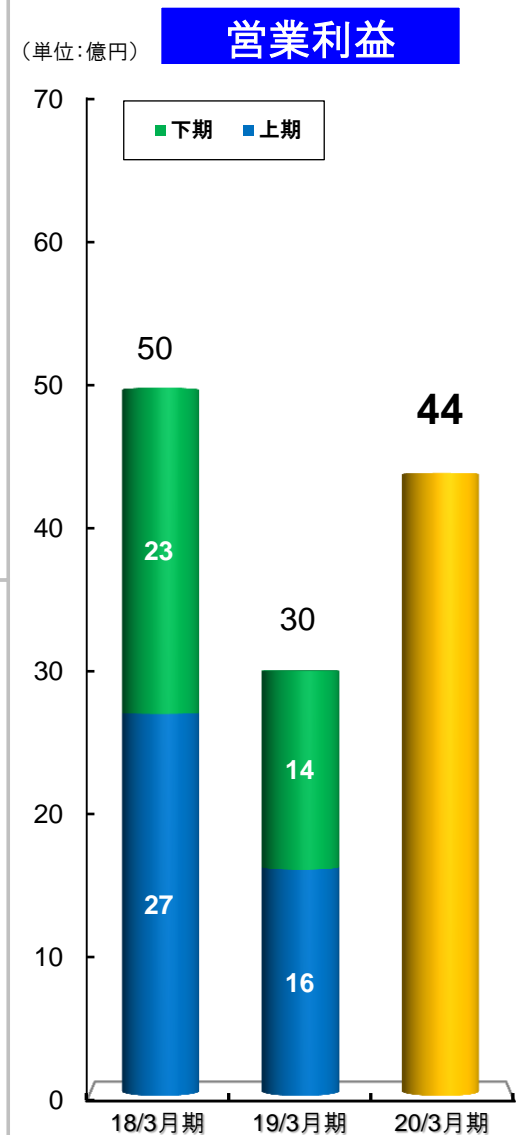
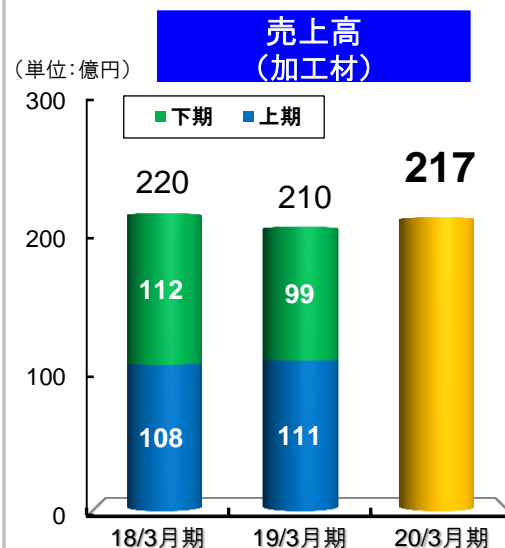
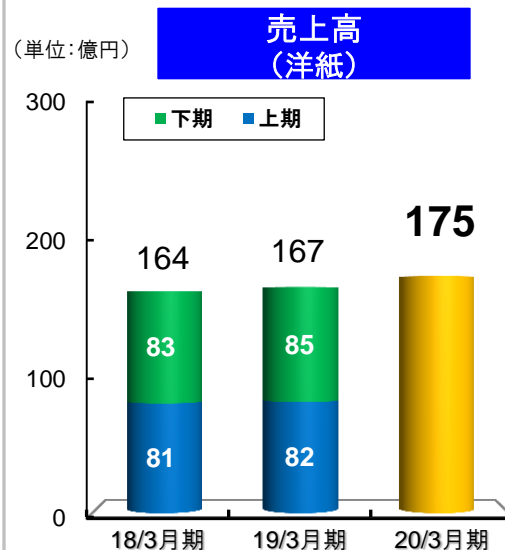
(単位:億円)

洋紙 事業部門	167	175	8	5.0%
------------	-----	-----	---	------

加工材 事業部門	210	217	7	3.2%
-------------	-----	-----	---	------

売上高 合計	377	392	15	4.0%
-----------	-----	-----	----	------

営業利益	30	44	14	48.1%
------	----	----	----	-------



➤ 洋紙事業部門

耐油耐水紙が堅調
価格改定効果を見込む

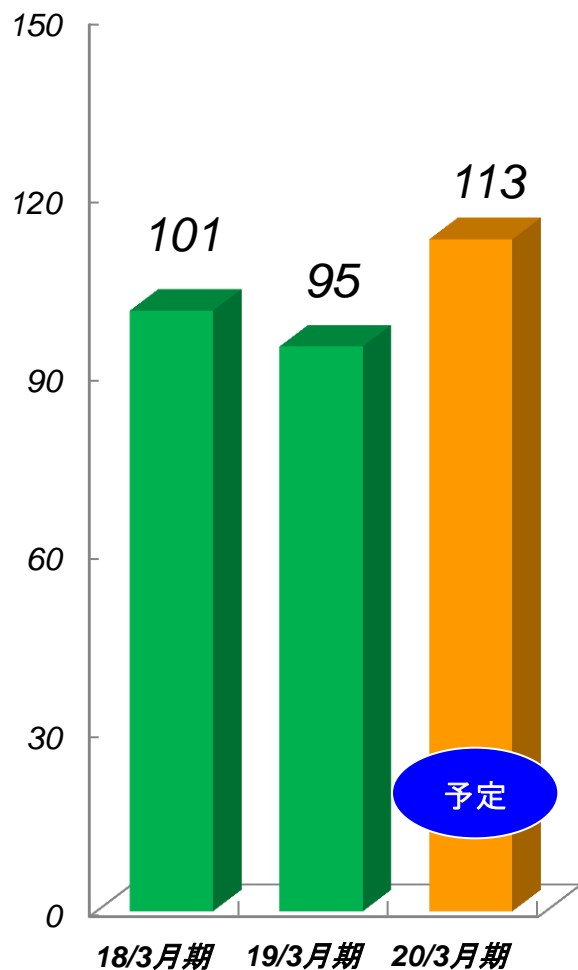
➤ 加工材事業部門

剥離紙が前年同期に比べ回復
合成皮革用工程紙が堅調

2020年3月期 設備投資額・減価償却費・研究開発費の概要および見通し

設備投資額

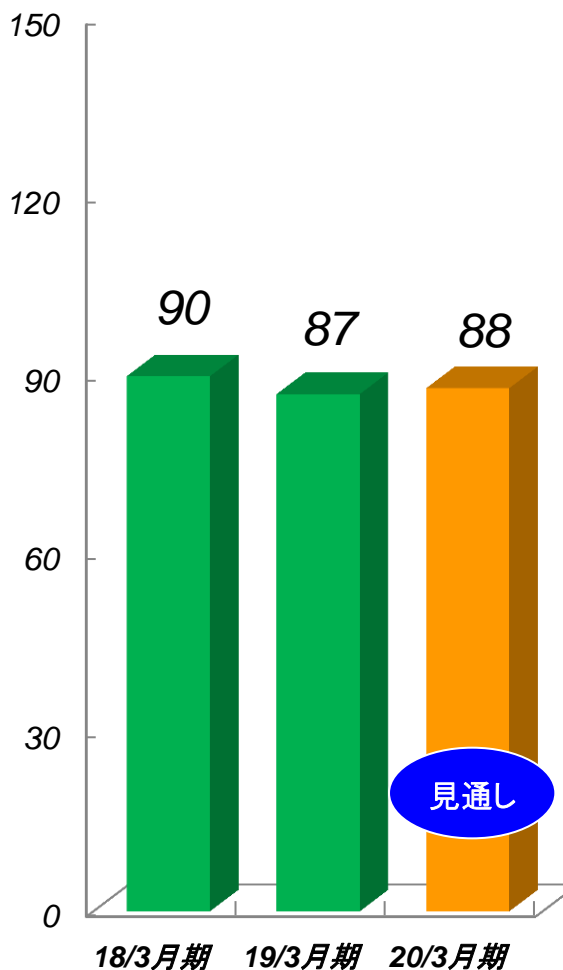
(単位:億円)



減価償却費

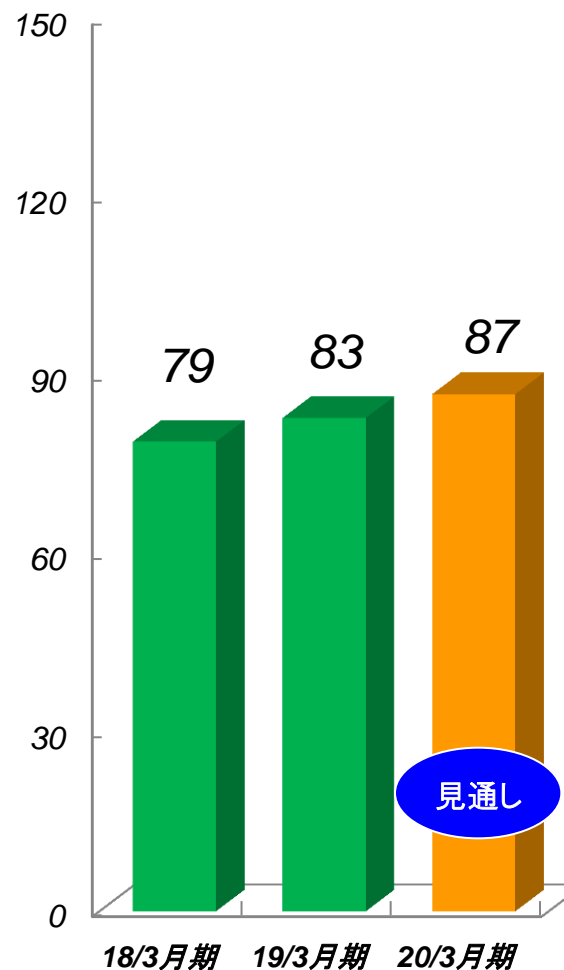
(単位:億円)

※のれん償却額は除く



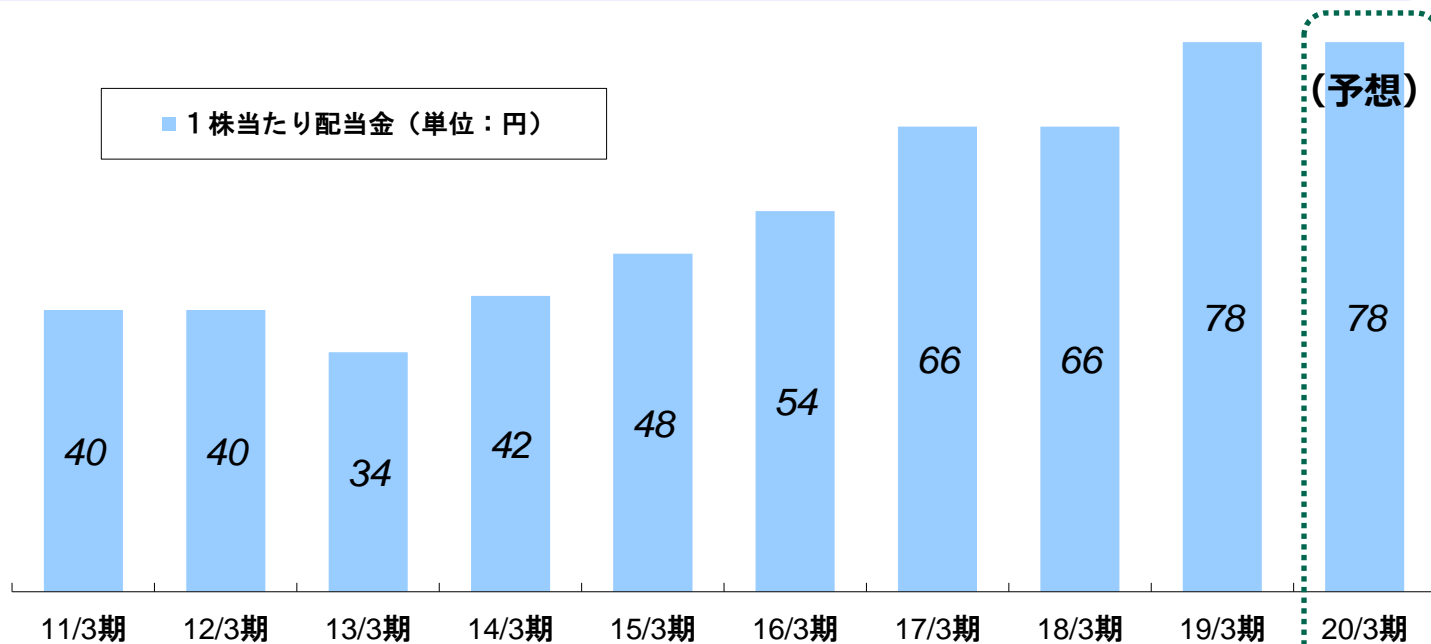
研究開発費

(単位:億円)



(基本方針)

当社は株主への利益還元の充実を経営上の最重要課題の一つと位置づけており、利益配分につきましては、経営基盤の強化を図りつつ、各事業年度の連結業績を勘案し、安定的かつ継続的な配当を行っていくことを基本といたします。内部留保資金につきましては、財務基盤の強化ならびに将来の企業価値向上のための生産設備や研究開発投資などに有効に活用してまいります。



当期純利益(億円)	136.2	86.4	76.8	85.0	116.6	109.0	114.5	112.6	129.4	135.0
1株当たり当期純利益(円)	180.21	115.26	102.83	114.22	161.63	151.07	158.69	156.02	179.24	186.97
連結配当性向(%)	22.2	34.7	33.1	36.8	29.7	35.7	41.6	42.3	43.5	41.7

ご清聴ありがとうございました

本資料の内容に関する注意

本資料に記載された計画や予測等は、資料作成時点での様々な前提に基づいた弊社の判断であり、その内容の正確性を保証したり、将来の計画数値、施策の実現を確約したりするものではありません。また、今後、予告なしに変更されることがあります。